

臨床研究「単回斜角筋間腕神経叢ブロック併用全身麻酔下に肩手術を受けた患者の術後 rebound pain に影響する因子の同定」について

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

肩の手術の前に単回の腕神経叢ブロックを行うことで、手術後 6~8 時間の良好な鎮痛が得られることが知られています。一方でブロックの効果が消失した後に強い痛みが現れ、疼痛のコントロールが困難なことがしばしばあります。どのような方がブロックの効果が切れた後の強い痛みを感じやすいかが分かれば、あらかじめ腕神経叢ブロックを持続で行うなどより重点的な術後鎮痛法の選択が可能となるかもしれません。今回の研究の目的は肩手術の内容、神経ブロックに使った局所麻酔薬の濃度や薬液量などと、ブロックの効果が切れた後の強い痛みの関連を調べることです。

② 研究対象者

2016 年 1 月~2020 年 12 月の 4 年間に肩手術を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後~2023 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

診療録や麻酔記録から必要な情報を後方視的に調べます

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療録や麻酔記録から必要な情報を後方視的に調べます

神経ブロックの効果が切れた後の強い痛みの有無、術後 24 時間で感じた最も強い痛みの程度

神経ブロックに使った局所麻酔薬の濃度や量、術後の吐き気、使用した鎮痛薬

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

他の機関や第三者へ情報や試料が提供されることはありません

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

本試験の責任医師：山田久美子（麻酔科・病院助教）

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：麻酔科 山田久美子

電話 029-896-7357（麻酔科ステーション、平日 8:30~17:15）

※担当医師を呼び出して下さい